

「竜門小学校の加治木太鼓踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	始良市立竜門小学校
2. 学年・人数	5・6年生 13人
3. 日時・場所	(1) 体験の日時・場所 令和7年6月14日（土） 竜門小学校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 始良市指定無形民俗文化財 小山田太鼓踊り（こやまだたいこおどり） (2) 由来 島津義弘が文禄・慶長の役の凱旋記念として、駿河の念仏踊りを参考に家臣に習得させたと言われている。 (3) 構成等 陣羽織と陣笠を身にまとい、ホタ振りを先頭に太鼓や鉦をつるした100人近い踊り手がにぎやかに町中を練り歩く。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	今年度、小山田地区太鼓踊保存会の方からの要請で、土曜授業の日に体験活動を実施した。初めての児童が多かったため、実際に太鼓踊りを踊っているところを見るだけでなく、太鼓踊り体験、加治木太鼓踊りの歴史など、45分の授業の中で、加治木太鼓踊りの魅力を感じることものできるかたちにしていただいた。今回の授業をとおして、文化財伝承に興味をもつ子が増え、継承者が出てくることを願っている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">太鼓踊り体験 歴史について知る</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保存会の方が太鼓踊りをしているところを見ていると、踊るのは簡単そうだと思っていたが、体験で実際にやってみると、ステップが思った以上に難しかった。また、太鼓が重くてびっくりした。【児童】 ○ 太鼓踊りをしてみて、太鼓が重いと感じた。また、バチが思っていた形ではなく、枝で固いのには驚いた。【児童】 ○ 叩き方や踊り方を教えていただいたが、実際に踊っている人たちはつま先や膝を伸ばしたり曲げたりしていることを知った。【教職員】 ○ 児童にとって、地元につながる文化を知る、よい機会になった。【教職員】